1

2
IOIOI
DVI

3
230
115

4

1

2

Business PC
Quick Setup & Getting Started

3

10.2 cm
(4 in)

10.2 cm
(4 in)

10.2 cm
(4 in)

10.2 cm
(4 in)

10.2 cm
(4 in)

クイック セットアップ/お使いになる前に
Business PC

クイック セットアップ/お使いになる前に

Business PC

初版 2007 年 7 月

製品番号：451270-291

このガイドについて

ユーザ ガイドおよび[HP Insight Diagnostics]ユーティリティへのアクセス

HP ユーザ ガイドおよび**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティはハードディスク　ドライブに収録されており（一部のモデルのみ）、http://www.hp.com/support/から入手することもできます。

HP ユーザ ガイドにアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP User Manuals]**（★HP ユーザ マニュアル★）の順に選択します。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティにアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ このガイドの「**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティへのアクセス」を参照してください。

表記

警告！　その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

注意：　その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

注記：　重要な補足情報です。

目次

クイック セットアップ/お使いになる前に

ソフトウェアのインストールおよびカスタマイズ

注記： コンピュータに Windows Vista が搭載されている場合、オペレーティング システムをインストールする前にコンピュータを HP Total Care に登録するよう求めるメッセージが表示されます。短いムービーの後、オンライン登録フォームが表示されます。フォームに入力し、**[Begin]**（開始）ボタンをクリックして画面の説明に沿って操作します。

注意： オペレーティング システムが正しくインストールされるまで、コンピュータにオプションや他社製のハードウェア（メモリや拡張ボードなど）を増設しないでください。先にハードウェアを増設すると、エラーが発生してオペレーティング システムを正しくインストールできない場合があります。

注記： 通気を確保するため、コンピュータの後ろとモニタの上 10.2 cm 以内に障害物がないようにしてください。

オペレーティング システムのインストール

コンピュータの電源を最初に入れたときに、オペレーティング システムのインストールが自動的に開始されます。この処理にかかる時間は、インストールするオペレーティング システムによって異なりますが、約 5 ～ 10 分です。画面に表示される説明に沿って、インストールを完了してください。

注意： オペレーティング システムのインストール プログラムが開始したら、完了するまでは絶対にコンピュータの電源を切らないでください。インストール中に電源を切ると、コンピュータを実行するソフトウェアが壊れたり、オペレーティング システムを正しくインストールできなくなったりすることがあります。

注記： コンピュータのハードディスク ドライブに複数の言語のオペレーティング システムが搭載されている場合は、インストール プロセスに最長で 60 分程度かかります。

コンピュータの出荷時に Microsoft オペレーティング システムが含まれていない場合、この説明書の一部の説明は該当しません。また、オペレーティング システムをインストールしてから、ヘルプも参照してください。

Microsoft Windows 更新プログラムのダウンロード

1. インターネット接続をセットアップするには、**[スタート]**→**[Internet Explorer]**の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。
2. インターネット接続が確立されたら、**[スタート]**ボタンをクリックします。
3. **[すべてのプログラム]**メニューを選択します。
4. **[Windows Update]**をクリックします。

   Windows Vista の場合、**[Windows Update]**画面が表示されます。**[適用可能な更新プログラムの表示]**をクリックして、重要な更新プログラムがすべて選択されていることを確認します。**[インストール]**ボタンをクリックし、画面の説明に沿って操作します。

   Windows XP の場合は、**[Microsoft Windows Update Web サイト]**が表示されます。http://www.microsoft.com/japan/からプログラムをインストールするかどうかを確認するポップアップ ウィンドウが 1 つ以上表示されたら、**[はい]**をクリックしてプログラムをインストールします。Microsoft Web サイトの画面の説明に沿って、更新プログラムをスキャンし、重要な更新およびサービス パックをインストールします。

   重要な更新およびサービス パックはすべてインストールすることをおすすめします。

5. 更新プログラムがインストールされた後、コンピュータの再起動を促すメッセージが画面に表示されます。再起動する前に、開いているファイルや文書を保存しておきます。その後、**[はい]**を選択してコンピュータを再起動します。

デバイス ドライバのインストールまたはアップグレード

オペレーティング システムのインストール完了後にオプションのハードウェアをインストールする場合は、デバイスごとにデバイス ドライバのインストールが必要です。

I386 ディレクトリからデバイス ドライバのインストールを開始する旨のメッセージが表示された場合は、「C:\i386」と入力するか、ダイアログ ボックスの**[参照]**ボタンを使用して i386 フォルダを指定してください。オペレーティング システムにより適切なデバイス ドライバが検索されます。

お使いのオペレーティング システムのサポート ソフトウェアなどの最新版は、http://www.hp.com/support/から入手できます。国/地域を選択してから**[ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]**を選択し、コンピュータのモデル番号を入力してから Enter キーを押します。

モニタ ディスプレイのカスタマイズ

モニタのモデル、リフレッシュ レート、画面の解像度、色の設定、フォント サイズ、および省電力機能の設定をユーザの好みに合わせて選択または変更することができます。変更するには、Windows デスクトップを右クリックし、**[プロパティ]**（Microsoft Windows XP の場合）または**[個人設定]**（Microsoft Windows Vista の場合）をクリックしてディスプレイ設定を変更します。詳しくは、グラフィックス コントローラ ユーティリティのヘルプまたはモニタに付属の説明書を参照してください。

ソフトウェアの保護

ソフトウェアを損失したり破損したりしたときのために、ハードディスク ドライブに保存されているすべてのシステム ソフトウェア、アプリケーション、および関連ファイルのバックアップをとっておきます。ご自身で作成したデータ ファイルをバックアップする方法については、オペレーティング システムまたはバックアップ ユーティリティの説明書やヘルプを参照してください。

HP Backup and Recovery Manager

HP Backup and Recovery Manager は、使いやすく多目的に利用できるアプリケーションであり、コンピュータのメイン ハードディスク ドライブのバックアップおよび回復を可能にします。HP Backup and Recovery Manager は Windows で動作し、Windows、すべてのアプリケーション、およびすべてのデータ ファイルのバックアップを作成します。バックアップは、指定の間隔で自動的に実行されるようにスケジュール設定することも、手動で開始することもできます。通常のバックアップとは別に重要なファイルのアーカイブを作成できます。

HP Backup and Recovery Manager は、ハードディスク ドライブのリカバリ パーティションにプリインストールされていて、以下の機能を持ちます。

- リカバリ ポイントを作成して、システム全体を段階的にバックアップする。
- 単一のアーカイブにシステム全体をバックアップする。
- 個別のファイルおよびフォルダをバックアップする。

リカバリ ポイントおよびファイルのバックアップは CD または DVD にコピーできますが、システム全体のバックアップはネットワークまたはセカンダリ ハードディスクにコピーできます。

コンピュータを使用する前に、今すぐリカバリ ディスク セットを作成して、リカバリ ポイントの定期的な自動バックアップのスケジュールを設定することを強くおすすめします。

リカバリ ディスク セットを作成するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Backup and Recovery]→[HP Backup and Recovery Manager]**の順にクリックして Backup and Recovery Wizard を起動し、**[次へ]**をクリックします。
2. **[Create a set of recovery discs (Recommended)]**（リカバリ ディスクを作成する（推奨））を選択し、**[次へ]**をクリックします。
3. ウィザードの説明に沿って操作します。

HP Backup and Recovery Manager には、基本的な 2 つのリカバリ方法があります。1 つは、Windows 上のファイルやフォルダのリカバリです。もう 1 つは、コンピュータのリカバリです。これには、リカバリ パーティションまたはリカバリ ディスク セットからの再起動が必要です。リカバリ パーティションから再起動するには、起動時に**[Press f11 for Emergency Recovery]**（緊急リカバリには f11 キーを押してください）というメッセージが表示されたら、f11 キーを押します。

HP Backup and Recovery Manager について詳しくは、**[スタート]→[HP Backup and Recovery]→[HP Backup and Recovery Manager マニュアル]**の順に選択して、『HP Backup and Recovery Manager ユーザ ガイド』を参照してください。

注記： リカバリ ディスク セットが必要になった場合は、サポート窓口にお問い合わせください。お問い合わせ先の電話番号については、日本では『サービスおよびサポートを受けるには』の小冊子を参照して、日本以外の国や地域では次の Web サイトにアクセスして地域を選択して確認してください。

http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティ

注記： **[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティは、一部のモデルのコンピュータのみに付属している CD に収録されています。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティを使用すると、お使いのコンピュータのハードウェアのコンフィギュレーション情報を表示し、コンピュータのサブシステムにハードウェア診断テストを実行することができます。このユーティリティは、ハードウェア問題を効率的に特定、診断、および分離する作業を簡素化します。

[HP Insight Diagnostics]を実行すると、**[Survey]**（調査）タブが表示されます。このタブには、コンピュータの現在のコンフィギュレーションが表示されます。**[Survey]**タブから、コンピュータについてのいくつかの情報カテゴリにアクセスすることができます。その他のタブには、診断テストのオプションやテスト結果などの追加情報が表示されます。各画面に表示された情報は、html ファイルとして保存し、ディスケットまたは USB メモリに格納することができます。

[HP Insight Diagnostics]を使用すると、コンピュータに取り付けられているデバイスがすべてシステムに認識されており、正常に機能しているかどうかを判断できます。テストの実行は任意ですが、新しいデバイスを取り付けたり接続したりした後には実行することをおすすめします。

サポート窓口に問い合わせる際は、事前にテストを実行し、テスト結果を保存し、その結果を印刷して手元に用意しておいてください。

注記： 他社製のデバイスは、**[HP Insight Diagnostics]**では検出されない場合があります。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティへのアクセス

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティにアクセスするには、リカバリ ディスク セットを作成して、**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティを含む CD から起動します。**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティは、http://www.hp.com（英語サイト）からダウンロードすることもでき

ます。詳しくは、「12 ページの 「HP Insight Diagnostics ユーティリティの最新バージョンのダウンロード」」を参照してください。

注記： [HP Insight Diagnostics]ユーティリティは、リカバリ ディスク セットの一部分として一部のモデルのコンピュータのみに付属しています。

リカバリ ディスク セットを既に作成済みである場合は、次の手順 4 から始めてください。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP Backup and Recovery]**→**[HP Backup and Recovery Manager]**の順にクリックして Backup and Recovery Wizard を起動し、**[次へ]**をクリックします。
2. **[Create a set of recovery discs (Recommended)]**（リカバリ ディスクを作成する（推奨））を選択し、**[次へ]**をクリックします。
3. ウィザードの説明に沿ってリカバリ ディスク セットを作成します。
4. Windows エクスプローラでリカバリ ディスク セットを検索し、**[compaq\hpdiags]**ディレクトリを含む CD を探します。
5. コンピュータの電源が入っているときに、見つけた CD をコンピュータのオプティカル ドライブに挿入します。
6. オペレーティング システムをシャットダウンし、コンピュータの電源を切ります。
7. コンピュータの電源を入れます。システムが CD から起動します。

   注記： システムがオプティカル ドライブの CD から起動しない場合は、コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで起動順序を変更して、ハードディスク ドライブより前にオプティカル ドライブから起動されるようにする必要があります。詳しくは、『コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティ ガイド』を参照してください。

8. 該当する言語を選択して、**[Continue]**（続行）をクリックします。

   注記： 特定のキーボードをテストする場合を除き、使用する言語に対して割り当てられている初期設定のキーボードを使用することをおすすめします。

9. **[End User License Agreement]**（使用許諾契約書）ページで、条項に同意する場合には**[Agree]**（同意する）をクリックします。**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティが、**[Survey]**（調査）タブを表示した状態で起動します。

[Survey]（調査）タブ

[Survey]（調査）タブには、システムの重要なコンフィギュレーション情報が表示されます。

[View level]（ビュー レベル）フィールドでは、一部のコンフィギュレーション データを表示する**[Summary]**（要約）ビュー、または選択したカテゴリのすべてのデータを表示する**[Advanced]**（詳細）ビューを選択できます。

[Category]（カテゴリ）フィールドでは、表示する情報カテゴリを次の中から選択できます。

[All]（すべて）：コンピュータに関するすべての情報カテゴリを一覧表示します。

[Overview]（概要）：コンピュータに関する一般的な情報を一覧表示します。

[Architecture]（アーキテクチャ）：システム BIOS および PCI デバイスの情報を表示します。

[Asset Control]（資産管理）：製品名、アセット タグ、システムのシリアル番号、およびプロセッサの情報を表示します。

[Communication]（通信）：コンピュータのパラレル（LPT）ポートとシリアル（COM）ポートの設定に関する情報、および USB とネットワーク コントローラの情報を表示します。

[Graphics]（グラフィックス）：コンピュータのグラフィックス コントローラに関する情報を表示します。

[Input Devices]（入力装置）：キーボード、マウス、およびコンピュータに接続されているその他の入力装置に関する情報を表示します。

[Memory]（メモリ）：コンピュータ内のすべてのメモリに関する情報を表示します。これには、システム ボードのメモリ スロットと、取り付けられているすべてのメモリ モジュールが含まれます。

[Miscellaneous]（その他）：**[HP Insight Diagnostics]**のバージョン情報、コンピュータのコンフィギュレーション メモリ（CMOS）情報、システム ボード データ、およびシステム管理 BIOS データを表示します。

[Storage]（記憶装置）：コンピュータに接続されている記憶メディアに関する情報を表示します。この一覧には、固定ディスク、ディスケット ドライブ、およびオプティカル ドライブが含まれます。

[System]（システム）: コンピュータ モデル、プロセッサ、シャーシ、および BIOS に関する情報と、内蔵スピーカおよび PCI バスの情報を表示します。

[Test]（テスト）タブ

[Test]タブを使用して、システム内のテストする部分を選択することができます。また、テストの種類とテスト モードも選択できます。

選択できるテストの種類は次の 3 つです。

- **[Quick Test]**（クイック テスト）：あらかじめ定義されたスクリプトで、各ハードウェア コンポーネントの一部がテストされます。**[Unattended Mode]**（自動実行モード）と**[Interactive Mode]**（対話形式モード）のどちらでもユーザによる操作を必要としません。
- **[Complete Test]**（完全テスト）：あらかじめ定義されたスクリプトで、各ハードウェア コンポーネントが完全にテストされます。**[Interactive Mode]**ではより多くのテストを実行できますが、ユーザによる操作が必要となります。
- **[Custom Test]**（カスタム テスト）：システムのテストの制御を最も柔軟に行えます。**[Custom Test]**モードを使用して、実行するデバイス、テスト、およびテスト パラメータを特定できます。

テストの種類ごとに、テストのモードを次の 2 つから選択できます。

- **[Interactive Mode]**（対話形式モード）：診断テストの手順を最大限に制御できます。テストを行っている間に、画面のメッセージに従って入力する必要があります。また、テストが成功したか失敗したかについてはユーザ自身が判断できます。
- **[Unattended Mode]**（自動実行モード）：入力画面は表示されず、テスト中は操作する必要がありません。エラーが発見された場合、診断テストの完了時に表示されます。

以下の手順でテストを開始します。

1. **[Test]**（テスト）タブを選択します。
2. 実行するテストの種類に応じて、**[Quick]**（クイック）タブ、**[Complete]**（完全）タブ、または**[Custom]**（カスタム）タブを選択します。
3. [テスト モード]として、**[Interactive]**（対話形式）または**[Unattended]**（自動実行）を選択します。
4. テストの実行方法として**[Number of Loops]**（ループ数）または**[Total Test Time]**（合計テスト時間）を選択します。指定したループ数でテストを実行する場合は、実行するループ数を入力します。

指定した期間にわたって診断テストを行う場合は、時間の長さを分単位で入力します。

5. クイック テストまたは完全テストを実行する場合は、ドロップダウン リストからテスト対象となるデバイスを選択します。カスタム テストを実行する場合は、**[Expand]**（展開）ボタンをクリックしてテスト対象となるデバイスを選択するか、**[Check All]**（すべてチェック）ボタンをクリックしてすべてのデバイスを選択します。

6. 画面の右下隅にある**[Begin Testing]**（テスト開始）ボタンをクリックして、テストを開始します。テスト中は**[Status]**（ステータス）タブが自動的に表示され、テストの進捗状況を監視できます。テストが完了したら、**[Status]**タブにデバイスが合格したかどうかが表示されます。

7. エラーが発見された場合、**[Log]**（ログ）タブに移動して**[Error Log]**（エラー ログ）をクリックすると、詳しい情報と対処方法が表示されます。

[Status]（ステータス）タブ

[Status]タブには、選択したテストのステータスが表示されます。また、実行するテストの種類（**[Quick]**（クイック）、**[Complete]**（完全）、または**[Custom]**（カスタム））も表示されます。メインの進捗状況バーには、現在のテスト セットの達成率が表示されます。テスト進行中は、テストを中止する場合に使用する**[Cancel Testing]**（テストの中止）ボタンが表示されます。

テストの完了後、**[Cancel Testing]**ボタンは**[Retest]**（再テスト）ボタンに置き換わります。**[Retest]**ボタンを使用すると、直前に実行されたテスト セットが再テストされます。これにより、**[Test]**（テスト）タブにデータを再入力せずに、テスト セットを再実行できます。

また、**[Status]**（ステータス）タブには次の情報も表示されます。

- テストされているデバイス
- テストされている各デバイスのテストの状態（実行中、成功、または失敗）
- テストされているすべてのデバイスについてのテスト全体の進捗状況
- テストされている各デバイスについてのテストの進捗状況
- テストされている各デバイスについてのテスト経過時間

[Log]（ログ）タブ

[ログ]タブには、**[Test Log]**（テスト ログ）タブと**[Error Log]**（エラー ログ）タブがあります。

[Test Log]には、これまでに実行されたすべてのテスト、テスト実行回数、テストが失敗した回数、および各テストの完了にかかった時間が表示されます。**[Clear Test Log]**（テスト ログのクリア）ボタンを使用すると、**[Test Log]**の内容が消去されます。

[Error Log]には、診断テスト中に失敗したデバイスのテストと、次の情報列が表示されます。

- **[Device]**（デバイス）セクションには、テストされたデバイスが表示されます。
- **[Test]**（テスト）セクションには、実行したテストの種類が表示されます。
- **[Description]**（説明）セクションには、診断テストで発見されたエラーについての説明が表示されます。
- **[Recommended Repair]**（推奨修復方法）には、不合格となったハードウェアの問題を解決するために必要な、推奨される対処方法についての説明が表示されます。
- **[Failed Count]**（失敗回数）は、デバイスがテストに失敗した回数を示します。
- **[Error Code]**（エラー コード）は、エラーの数字コードを示します。エラー コードは、**[Help]**（ヘルプ）タブで定義されます。

[Clear Error Log]（エラー ログのクリア）ボタンを使用すると、**[Error Log]**の内容が消去されます。

[Help]（ヘルプ）タブ

[ヘルプ]タブには**[HP Insight Diagnostics]**タブ、**[Error Codes]**（エラー コード）タブ、および**[Test Components]**（コンポーネントのテスト）タブがあります。

[HP Insight Diagnostics]タブには、ヘルプ トピックと、検索および索引機能があります。

[Error Codes]タブには、**[Log]**（ログ）タブにある**[Error Log]**（エラー ログ）タブに数字で示された各エラー コードについての説明が表示されます。各コードについて、対応するエラー メッセージと問題の解決に役

立つ推奨修復方法が示されます。エラー コードの説明をすばやく見つけるには、タブの上部にあるボックスにコードを入力し、**[Find Error Codes]**（エラー コードの検索）ボタンをクリックします。

[Test Components]（コンポーネントのテスト）タブには、実行されているテストに関する基本的な情報が表示されます。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティでの情報の保存と印刷

[HP Insight Diagnostics]の**[Survey]**（調査）タブおよび**[Log]**（ログ）タブに表示されている情報を、ディスケットまたは USB 2.0 対応 USB メモリ（64MB 以上）に保存することができます。ハードディスク ドライブに保存することはできません。画面に表示されている情報と同じ体裁の html ファイルが自動的に作成されます。

1. ディスケットまたは USB 2.0 対応 USB メモリ（容量が 64 MB 以上）を挿入します。USB 1.0 対応 USB メモリはサポートされていません。
2. 画面の右下隅にある**[Save]**（保存）をクリックします。
3. **[Save to the floppy]**（フロッピーに保存）または**[Save to USB key]**（USB メモリに保存）を選択します。
4. **[File Name]**（ファイル名）ボックスにファイル名を入力し、**[Save]**ボタンをクリックします。挿入したディスケットまたは USB メモリに html ファイルが保存されます。

   注記： メディアに html ファイルが書き込まれたことを示すメッセージが表示されるまで、ディスケットや USB メモリを取り外さないでください。

5. ファイルの保存に使用した記憶デバイスから情報を印刷します。

注記： HP Insight Diagnostics を終了するには、画面の左下隅にある**[Exit Diagnostics]**（Diagnostics の終了）ボタンをクリックし、オプティカル ドライブから CD を取り出します。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティの最新バージョンのダウンロード

1. HP の Web サイト（http://www.hp.com/jp/）にアクセスします。
2. **[ドライバ&ソフトウェアダウンロード]**リンクをクリックします。
3. テキスト ボックスに製品番号（dc7700 など）を入力し、Enter キーを押します。

4. お使いのコンピュータ モデルを選択します。
5. お使いの OS を選択します。
6. **[Diagnostic]**リンクをクリックします。
7. **[HP Insight Diagnostics Offline Edition]**をクリックします。
8. 言語を選択して、**[Download]**をクリックします。

注記： ダウンロード ファイルには、ブート可能な CD の作成手順が含まれます。

コンピュータの電源切断

コンピュータの電源を正しく切断するには、オペレーティング システム ソフトウェアを終了します。Windows Vista のデスクトップで、**[スタート]**→**[スタート]**メニューの右下隅にある矢印の順にクリックして、**[シャットダウン]**を選択します。コンピュータは自動的にシャットダウンされます。Windows XP Professional をお使いの場合は**[スタート]**→**[シャットダウン]**→**[シャットダウン]**→**[OK]**の順に選択します。Windows XP Home をお使いの場合は**[スタート]**→**[終了オプション]**→**[電源を切る]**の順に選択します。

お使いのオペレーティング システムでの設定によっては、オペレーティング システムの起動中に電源ボタンを押しても電源は切れずに、低電力消費のスタンバイ モードになります。これにより、ソフトウェア アプリケーションを終了しなくても、コンピュータを低電力消費モードにすることができます。また、オペレーティング システムを再起動したり、データを失ったりすることなく、すぐに元の動作状態に戻すことができます。

注意： コンピュータの電源を手動で強制的に切ると、保存されていないデータが失われるおそれがあります。

電源ボタンを 4 秒間以上押したままにすると、スタンバイ状態にはならず、コンピュータの電源が強制的に切れます。

一部のモデルでは、コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを実行して、電源ボタンを電源を入れたり切ったりするためのスイッチとして機能するように設定できます。コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティの使用方法について詳しくは、『コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティ ガイド』を参照してください。

その他の情報の参照先

コンピュータのハードディスク ドライブには次の説明書が収録されています。

- 『クイック セットアップ/お使いになる前に』（このガイド：印刷物としても提供）：コンピュータと周辺機器の接続方法や、出荷時に含まれているソフトウェアをセットアップする手順について説明します。初期起動時に発生する可能性があるトラブルに対する基本的な解決方法についても説明しています。
- 『ハードウェア リファレンス ガイド』：ハードウェアの概要およびこのコンピュータ シリーズのアップグレードについて説明します。また、RTC バッテリ、メモリ、および電源装置についても説明します。
- 『コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティ ガイド』：コンピュータ セットアップを使用して、新しいハードウェアを取り付けた場合やメンテナンスの目的で初期設定を再構成および変更する方法について説明します。
- 『デスクトップ マネジメントについて』：一部のモデルにプリインストールされているセキュリティ機能とインテリジェント マネジメント機能の概念および使用手順について説明します。
- 『トラブルシューティング ガイド』：コンピュータのトラブルシューティングに役立つヒント、およびハードウェアとソフトウェアで発生する可能性のあるトラブルの解決方法について説明します。診断コードについての情報および診断用ユーティリティを実行する方法などが含まれます。
- 『規定および安全に関するご注意』：各国の規制に準拠する規定と安全に関する情報について説明します。

HP ユーザ ガイドへのアクセス

HP ユーザ ガイドおよび**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティはハードディスク ドライブに収録されており（一部のモデルのみ）、http://www.hp.com/support/から入手することもできます。

HP ユーザ ガイドにアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP User Manuals]**（★HP ユーザ マニュアル★）の順に選択します。

[HP Insight Diagnostics]ユーティリティにアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ このガイドの「**[HP Insight Diagnostics]**ユーティリティへのアクセス」を参照してください。

『HP Backup and Recovery Manager ユーザ ガイド』にアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Backup and Recovery]→[HP Backup and Recovery Manager マニュアル]**の順に選択します。

『快適に使用していただくために』にアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Safety and Comfort Guide]**（★快適に使用していただくために★）の順に選択します。

メニューおよび説明書は、初期セットアップ時に選択した言語、またはセットアップ後に Windows の**[地域のプロパティ]**または**[地域と言語のオプション]**で指定した言語で表示されます。**[地域のプロパティ]**で設定した言語がサポートされていない場合は、メニューおよび説明書が英語で表示されます。

お問い合わせになる前に

コンピュータにトラブルが発生した場合は、テクニカル サポートにお問い合わせになる前に次の解決方法から適切なものを実行して、トラブルの解決を試みてください。

- 診断ユーティリティを実行します。詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。
- コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを使用して**[IDE DPS セルフテスト]**（IDE DPS Self-Test）を実行します。詳しくは、『コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティ ガイド』を参照してください。

注記： **[IDE DPS セルフテスト]**ソフトウェアは一部のモデルにのみ搭載されています。

- コンピュータ前面の電源ランプが赤く点滅していないか確認します。点滅の仕方により、問題を特定できる場合があります。詳しくは、このガイドの「27 ページの 「POST 時のフロント パネルのランプおよびビープ音の診断」」を参照してください。
- 画面に何も表示されない場合は、モニタのケーブルを他のビデオ ポートに接続します（使用できる場合）。または、正しく機能するモニタと交換します。
- ネットワークに接続しているときにトラブルが発生した場合は、別のケーブルを使用してコンピュータをネットワークに接続してみるか、問題が発生したコンピュータの LAN ケーブルを正常に動作している別のコンピュータで使用してネットワークに接続してみて、元のネットワーク コネクタまたはケーブルに問題がないか確認します。
- 新しいハードウェアを取り付けてから問題が発生した場合は、そのハードウェアを取り外して、コンピュータが正しく機能するか確認します。
- 新しいソフトウェアをインストールしてから問題が発生した場合は、そのソフトウェアをアンインストールして、コンピュータが正しく機能するか確認します。
- コンピュータを Safe モードで起動してみて、すべてのドライバがロードされなくても起動するか確認します。前回正常に起動したときの状態でオペレーティング システムを起動する場合は、前回正常起動時の構成を使用します。
- http://www.hp.com/support/にある、オンライン テクニカル サポートを参照します。
- 一般的な問題については、このガイドの「18 ページの 「問題解決のヒント」」を参照してください。
- より詳細な情報については、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。
- 作成したリカバリ ディスク セットを使用してシステムを復元するか、または HP Backup and Recovery Manager の工場出荷時の状態にシステムを復元します。

△ **注意：** システムを復元すると、ハードディスク ドライブ上のすべてのデータが消去されます。すべてのデータ ファイルをバックアップしてから、復元プロセスを実行してください。

HP の Web サイトにある HP インスタントサポート・プロフェッショナル・エディションでは、ユーザ自身によるトラブル解決に役立つツールが提供されています。HP のサポート担当者に問い合わせる場合は、HP インスタントサポート・プロフェッショナル・エディションのオンライン チャット機能を使用します。HP インスタントサポート・プロフェッショナル・エディションには、 http://www.hp.com/go/ispe からアクセスできます。

最新のオンライン サポート情報やソフトウェアおよびドライバなどにについては、http://h50221.www5.hp.com/CPO_TC/pc/pc.htm にアクセスしてください。

テクニカル サポートにお問い合わせになる際は、問題をより早く解決するために以下のことをすぐに行えるようにしておいてください。

- コンピュータの近くから電話ができるようにします。
- お問い合わせになる前に、コンピュータのシリアル番号と製品識別番号およびモニタのシリアル番号を書き留めておきます。
- お電話をいただいてから、原因を特定して問題が解決できるまでに時間がかかることもありますので、あらかじめご了承くださいます様、お願いいたします。
- 新しく取り付けたハードウェアを取り外せるようにしておきます。
- 新しくインストールしたソフトウェアをアンインストールできるようにしておきます。
- 作成したリカバリ ディスク セットを使用してシステムを復元するか、または HP Backup and Recovery Manager の工場出荷時の状態にシステムを復元します。

△ **注意：** システムを復元すると、ハードディスク ドライブ上のすべてのデータが消去されます。すべてのデータ ファイルをバックアップしてから、復元プロセスを実行してください。

注記： 保証のアップグレード（HP Care Pack）情報などについては、製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』をご覧ください。

問題解決のヒント

コンピュータ本体、モニタ、またはソフトウェアにトラブルが発生した場合は、まず次のことを確認してください。

- コンピュータ本体とモニタの電源コードが、電源コンセントに正しく差し込まれていますか。
- 電圧選択スイッチのあるモデルをお使いの場合は、スイッチがお住まいの地域に合った設定（115 V または 230 V、日本国内では通常 115 V に設定します）になっていますか。
- コンピュータ本体の電源が入っていて、電源ランプが緑色に点灯していますか。
- モニタの電源が入っていて、電源ランプが緑色に点灯していますか。
- コンピュータ前面の電源ランプが点滅していないか確認します。点滅の仕方により、問題を特定できる場合があります。詳しくは、このガイドの「27 ページの 「POST 時のフロント パネルのランプおよびビープ音の診断」」を参照してください。
- モニタ画面の表示がぼやけているときには、モニタの調節つまみで輝度とコントラストを調整してください。
- 何かキーを押し続けるとビープ音が鳴りますか。ビープ音が鳴れば、キーボードは正しく機能しています。
- すべてのケーブルを正しく接続していますか。ゆるんでいたり、間違ったコネクタに接続したりしていませんか。
- キーボードの任意のキーまたは電源ボタンを押して、コンピュータを再起動します。システムがサスペンド モードから 4 秒以上復帰しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切り、もう一度電源ボタンを押して電源を入れなおします。システムがシャットダウンしない場合は、電源コードを抜いて数秒待ち、コードを接続しなおします。電源が切れてしまったときに自動的に再起動するようにコンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで設定しておくと、コンピュータが再起動します。再起動しない場合は、電源ボタンを押してコンピュータを起動する必要があります。
- プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボードやオプションを取り付けた後にコンピュータを再設定しましたか。詳しくは、「24 ページの 「ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法」」を参照してください。

- 必要なデバイス ドライバが正しくインストールされていますか。プリンタを使用する場合は、そのモデル用のプリンタ ドライバが必要です。
- システムから起動可能メディア（ディスケット、CD、または USB デバイス）をすべて取り出してからシステムを起動していますか。
- 出荷時とは異なるオペレーティング システム（OS）をインストールしている場合は、ご自身で用意された OS がお使いのシステムでサポートされていることを確認してください。
- お使いのコンピュータに内蔵の VGA ポート以外の PCI または PCI-Express のグラフィックス ボードが追加された状態で、コンピュータに接続するモニタが 1 台の場合、通常は内蔵の VGA ポートが無効になるため、追加されたグラフィックス ボードのコネクタにモニタを接続する必要があります。起動時には、別のモニタのコネクタは無効となります。上記のポートにモニタが接続されている場合、このモニタは機能しません。なお、コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを使用すると、どのポート（コネクタ）を有効にするかを設定できます。

△ 注意： コンピュータが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電やシステムの損傷を防ぐため、コンピュータのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

基本的なトラブルシューティング

ここでは、初期起動処理中に発生する可能性があるトラブルについて説明します。詳しくは、ハードディスク ドライブに収録されている『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。このガイドは http://www.hp.com/support/からも入手できます。国と言語を選択してから**[サポート&問題解決情報を表示する]**を選択し、コンピュータのモデル番号を入力して Enter キーを押します。

一般的なトラブルの解決方法

この章で説明するような一般的なトラブルは、ご自身で簡単に解決できる場合があります。トラブルをご自身で解決できない場合、または解決方法の実行に不安がある場合は、サポート窓口にご相談ください。

⚠ **警告！** コンピュータが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や火傷の危険がありますので、電源コードが電源コンセントから抜き取ってあること、および本体内部の温度が下がっていることを確認してください。

表 1 一般的なトラブルの解決方法

コンピュータがロックされ、電源ボタンを押しても電源が切れない

原因	解決方法
電源スイッチのソフトウェアによる制御機能が働いていない	1. コンピュータの電源が切れるまで 4 秒以上電源ボタンを押し続けます 2. 電源コードを電源コンセントから抜きます

コンピュータが USB キーボードやマウスに反応しない

原因	解決方法
コンピュータがスタンバイ モードになっている	スタンバイ モードから復帰するには、電源ボタンか任意のキーを押します **注意：** スタンバイ モードから復帰するときに、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。4 秒以上押すと、コンピュータがシャットダウンし、保存されていないデータが損失します
システムがロックされている	コンピュータを再起動します

日付と時刻が正しく表示されない

原因	解決方法
RTC（リアル タイム クロック）用バッテリが寿命に達している **注記：** コンピュータを有効な外部電源に接続すると、RTC バッテリの寿命が延びます	最初に、Windows の**[コントロール パネル]**にあるユーティリティを使って日付と時刻を設定しなおします。RTC の日付と時刻はコンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで設定しなおすこともできます。問題が解決しない場合は、RTC 用バッテリを交換します。新しいバッテリの装着方法について詳しくは、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください。または、HP 製品販売店またはサポート窓口に RTC 用バッテリの交換についてお問い合わせください

表 1 一般的なトラブルの解決方法 (続き)

テンキーの矢印キーを押しても、カーソルが移動しない

原因	解決方法
数字入力モードになっている	Num Lock キーを押します。テンキーを矢印キーとして使用するには、Num Lock ランプが消えている必要があります。Num Lock キーはコンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで無効（または有効）に設定できます

音が出ない、または音量が低すぎる

原因	解決方法
システム ボリュームの音量が低いか、ミュート（消音）になっている	1. コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで BIOS 設定を調べ、内蔵システム スピーカがミュートになっていないか確認します（この設定は外付けスピーカには影響しません） 2. 外付けスピーカが正しく接続されて電源が入っていることと、スピーカのボリューム コントロールが正しく設定されていることを確認します 3. オペレーティング システムで使用できるシステム ボリューム コントロールを使用して、スピーカがミュートになっていないか確認し、音量を上げます

本体のカバーまたはアクセス パネルが取り外せない

原因	解決方法
一部のモデルのコンピュータで、スマート カバー ロック（Smart Cover Lock）がかけられている	コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを使用して、スマート カバー ロックを解除（Unlock）します FailSafe キーの入手については、HP のサポート窓口にお問い合わせください。パスワードを忘れてしまった、電源が切れた、コンピュータが故障したなどの理由でロックを解除できない場合は、FailSafe キーを使用してロックを解除してください。レンチ スタイルのキーの場合は製品番号 166527-001 を、ネジ回しビット キーの場合は製品番号 166527-002 を購入してください

表 1 一般的なトラブルの解決方法 (続き)

十分なパフォーマンスが得られない

原因	解決方法
プロセッサが高温に達している	1. コンピュータ周辺の通気が妨げられていないことを確認します。また、通気が確保されるよう、コンピュータの通気孔のある面とモニタの上部に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください 2. ファンが正しく取り付けられ、正常に動作していることを確認します（必要な場合にのみ動作するファンもあります） 3. プロセッサのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します
ハードディスク ドライブに十分な空き領域がない	ハードディスク ドライブからデータを移動して空き領域を増やします
メモリが足りない	メモリを増設します
ハードディスク ドライブ上のデータが断片化している	ハードディスク ドライブのデフラグを行います
以前起動したプログラムで使用されたメモリがシステムに返されていない	コンピュータを再起動します
ハードディスク ドライブがウィルスに感染している	ウィルス対策プログラムを実行します
実行しているアプリケーションの数が多すぎる	1. 使用していないアプリケーションを終了して、メモリを開放します 2. メモリを増設します
一部のソフトウェア アプリ ケーション（特にゲームなど）が、グラフィックス サブシステムに負荷をかけている	1. 使用中のアプリケーションの解像度を下げるか、アプリケーションに付属の説明書を参照して、パフォーマンスが改善されるようにアプリケーションのパラメータを設定します 2. メモリを増設します 3. グラフィックス システムをアップグレードします
原因がわからない	コンピュータを再起動します

表 1 一般的なトラブルの解決方法 (続き)

コンピュータの電源が自動的に切れ、電源ランプが 1 秒間隔で 2 回赤色で点滅すると同時にビープ音が 2 回鳴り、その後 2 秒間休止する（一連のビープ音は 5 回繰り返された後停止するが、電源ランプは点滅し続ける）

原因	解決方法
本体内部の温度が以下の理由により動作範囲を超えていたためサーマル保護機能が働いた ファンの動作が妨げられているかファンが回転していない または ヒートシンクが正しくプロセッサに取り付けられていない	1. コンピュータの通気口がふさがれていないことと、プロセッサの冷却用ファンが稼動していることを確認します 2. カバーを開けて電源ボタンを押し、プロセッサ ファンが回転するか確認します。プロセッサ ファンが回転しない場合は、ファンのケーブルがシステム ボード ヘッダに接続されていることを確認します 3. ファンおよびケーブルが取り付けられていても回転しない場合は、ヒートシンク/ファン アセンブリを交換します 4. 上記の方法で問題が解決しない場合は、修理受付窓口に問い合わせます

システムの電源が入らず、コンピュータ前面のランプが点滅していない

原因	解決方法
システムの電源を入れることができない	電源ボタンを 3 秒間程度押し続けます。ハードディスク ドライブ ランプが緑色に点灯したら、以下の操作を行います 1. 一部のモデルの電源装置の裏側にある電圧選択スイッチが正しい電圧に設定されていることを確認します。正しい電圧は地域によって異なります（日本国内では、通常、115 V に設定します） 2. システム ボードの 5 V aux ランプが点灯するまで、拡張カードを 1 枚ずつ取り外します 3. 上記の手順でも問題が解決されない場合はシステム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください） または

表 1 一般的なトラブルの解決方法 (続き)

システムの電源が入らず、コンピュータ前面のランプが点滅していない

原因	解決方法
	電源ボタンを 3 秒間程度押し続けます。ハードディスク ドライブ ランプが緑色に点灯しない場合は、以下の操作を行います **1.** コンピュータ本体が、電力が供給されている電源コンセントに接続されていることを確認します **2.** カバーを開けて、電源ボタン ハーネスがシステム ボードに正しく接続されていることを確認します **3.** 電力ケーブルが両方ともシステム ボードに正しく接続されていることを確認します **4.** システム ボードの 5 V aux ランプが点灯しているか確認します。点灯している場合は、電源ボタン ハーネスを交換します **5.** システム ボードの 5 V aux ランプが消灯している場合は、電源装置を交換します **6.** 上記の手順でも問題が解決されない場合はシステム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）

ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法

ドライブや拡張カードを増設するなど新しいハードウェアの取り付けや取り外しを行う場合、コンピュータを再設定する必要が生じることがあります。プラグ アンド プレイ対応の装置を取り付けた場合、Windows は自動的に装置を認識しコンピュータを再設定します。プラグ アンド プレイに対応していない装置を取り付けた場合は、新しいハードウェアを取り付けた後でコンピュータを再設定する必要があります。Windows では **[ハードウェアの追加ウィザード]** を使用し、画面の説明に沿って操作してください。

⚠ **警告！** コンピュータが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や火傷の危険がありますので、電源コードが電源コンセントから抜き取ってあること、および本体内部の温度が下がっていることを確認してください。

表 2 ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法

取り付けたハードウェアが認識されない

原因	解決方法
デバイスが正しく取り付けられていないか、接続されていない	デバイスが正しく取り付けられ、確実に接続されていること、およびコネクタ内でピンが折れ曲がっていないことを確認します
取り付けたハードウェアのケーブルが正しく接続されていないか、電源コードが外れている	すべてのケーブルと電源コードが正しく接続されていること、およびケーブルやコネクタのピンが折れ曲がっていないことを確認します
取り付けた外部装置の電源が入っていない	本体の電源を切ってから、外部装置の電源を入れ、次に本体の電源を再度入れます
コンピュータの設定情報を変更するようメッセージが表示されたが、実行しなかった	コンピュータを再起動し、画面の説明に沿って設定情報を変更します
プラグ アンド プレイ対応ボードを追加した際に初期のコンフィギュレーションが他の装置と競合したため、自動的に設定されなかった	Windows の**[デバイス マネージャ]**を使用してボードの自動設定の選択を解除し、リソースの競合を発生させない基本コンフィギュレーションを選択します。コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを使用して、リソースの競合の原因となっている装置を設定しなおしたり、無効に設定したりすることもできます
コンピュータの USB ポートがコンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティで無効に設定されている	コンピュータ セットアップ（F10）ユーティリティを実行して、USB ポートを有効にします

コンピュータが起動しない

原因	解決方法
アップグレード時に正しいメモリ モジュールが使用されなかった。または、メモリ モジュールが正しい場所に取り付けられていない	1. システムに付属の説明書を参照して、正しいメモリ モ ジュールを使用しているか、および正しく取り付けられているかを確認します **注記：** DIMM 1 は常に取り付けておく必要があります 2. ビープ音とキーボードのランプを確認します。ビープ音とランプの点滅は、特定のトラブルに対するコードです 3. 問題が解決しない場合は、サポート窓口にお問い合わせください

表 2 ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法 (続き)

電源ランプが 1 秒間隔で 5 回赤色で点滅すると同時にビープ音が 5 回鳴り、その後 2 秒間休止する（一連のビープ音は 5 回繰り返された後停止するが、電源ランプは点滅し続ける）

原因	解決方法
メモリが正しく取り付けられていない、またはメモリに障害がある	**注意：** DIMM やシステムの損傷を防ぐため、DIMM モジュールを取り付けなおす場合、または DIMM モジュールの取り付けや取り外しをする場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください 1. DIMM を取り付けなおして、システムの電源を入れます。システムの電源を入れます 2. DIMM を一度に 1 つずつ取り外して交換し、故障したモジュールを特定します **注記：** DIMM 1 は常に取り付けておく必要があります 3. 他社製のメモリをしている場合は、HP 純正メモリに交換してみます 4. 上記の手順でも問題が解決されない場合はシステム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）

電源ランプが 1 秒間隔で 6 回赤色で点滅すると同時にビープ音が 6 回鳴り、その後 2 秒間休止する（一連のビープ音は 5 回繰り返された後停止するが、電源ランプは点滅し続ける）

原因	解決方法
グラフィックス カードが正しく挿入されていないか、ビデオ カードまたはシステム ボードに障害がある	グラフィックス カードが挿入されている場合は、以下の操作を行います 1. グラフィックス カードを正しく接続します。システムの電源を入れます 2. グラフィックス カードを交換します 3. 上記の手順でも問題が解決されない場合はシステム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください） 内蔵グラフィックスが搭載されている場合は、システム ボードを交換します

表 2 ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法 (続き)

電源ランプが 1 秒間隔で 10 回赤色で点滅すると同時にビープ音が 10 回鳴り、その後 2 秒間休止する（一連のビープ音は 5 回繰り返された後停止するが、電源ランプは点滅し続ける）

原因	解決方法
オプション カードの障害	1. オプション カードを一度に 1 枚ずつ取り外し（カードが複数ある場合）、そのたびにシステムの電源を入れて問題が解決するか確認します 2. 障害のあるカードを特定できたら、そのカードを取り外して交換します 3. 上記の手順でも問題が解決されない場合はシステム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）

POST 時のフロント パネルのランプおよびビープ音の診断

コンピュータ前面のランプが点滅していたり、ビープ音が鳴ったりする場合には、『トラブルシューティング ガイド』を参照して状態を解釈し、推奨される処置を行ってください。